

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ニッピ

コード番号 7932 URL <http://www.nippi-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 隆男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 河村 桂作

TEL 03-3888-5117

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	28,463	△4.9	1,503	△21.2	1,338	△17.6	1,810	18.5
24年3月期第3四半期	29,941	3.2	1,907	△2.5	1,623	△0.9	1,527	63.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,066百万円 (2.1%) 24年3月期第3四半期 2,023百万円 (161.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	160.45	—
24年3月期第3四半期	135.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	60,230	20,428	33.2
24年3月期	62,571	18,450	28.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 19,970百万円 24年3月期 18,038百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	2.4	2,100	△13.0	1,600	△25.9	1,000	△54.1	88.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	12,000,000 株	24年3月期	12,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	718,503 株	24年3月期	718,201 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	11,281,587 株	24年3月期3Q	11,282,689 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間に於ける我が国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかながら持ち直しの動きを見せておりますが、原油をはじめとして、海外の原材料価格が高止まりしております。また、欧州の金融債務危機や中国経済の減速等厳しい状況で推移いたしました。

このような経済情勢下において、当社グループの業績は売上に関しては前年を若干下回りました。営業利益に関しては、企業認知度の向上を主眼においた広告宣伝を集中的に実施したため減益となりました。また、足立区千住地区の保有不動産を一部売却したことにより、特別利益を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ1,478百万円減少し、28,463百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

売上総利益は、47百万円減少し、7,269百万円（同0.7%減）となり、営業利益は、403百万円減少し、1,503百万円（同21.2%減）、また、経常利益は、285百万円減少し、1,338百万円（同17.6%減）となり、四半期純利益は、282百万円増加し、1,810百万円（同18.5%増）となりました。

セグメントの状況につきましては以下の通りであります。

#### ① コラーゲン・ケーシング事業

コラーゲン・ケーシングの売上高は、世界的な天然腸の供給不足により国内部門は順調に推移し、輸出部門は国内売上の伸長により出荷制限をしたため、やや減少しました。

この結果、売上高は、6,687百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は、1,449百万円（同20.3%増）となりました。

#### ② ゼラチン関連事業

ゼラチン、ペプタイド共に売上高は、昨年の東日本大震災直後の好調な売上から一転し、得意先の生産調整の動きも見られ、減速に陥りました。また、海外の輸入原材料価格の上昇により損益面でもやや苦しい状況になってまいりました。

この結果、売上高は、5,507百万円（同17.0%減）、営業利益は、564百万円（同20.4%減）となりました。

#### ③ 化粧品関連事業

コラーゲン化粧品の売上高は、TVコマーシャル等の積極的な広告活動により新規顧客の開拓を進めておりますが、化粧品、健康食品共に前年を若干下回りました。損益面では、広告宣伝費が大幅に増加しております。

この結果、売上高は、3,319百万円（同6.2%減）、営業利益は、225百万円（同67.8%減）となりました。

#### ④ 皮革関連事業

婦人靴用革の売上高は、ほぼ横ばいとなりましたが、車両用革の売上高は、中国の日系自動車部品メーカーの減産により減少し、紳士靴の卸売及び原皮などの原材料の取扱高も減少いたしました。また、取引先の経営破綻により、貸倒引当金繰入額を計上したことにより営業経費が増加しました。

この結果、売上高は、7,230百万円（同7.7%減）、営業利益は、102百万円（同45.3%減）となりました。

#### ⑤ 賃貸・不動産事業

賃貸・不動産部門は、再開発を進めている東京都足立区で一部の駐車場等を閉鎖しましたが、引き続き大阪市浪速区の土地と共に暫定事業として賃貸事業を継続しております。

この結果、売上高は、277百万円（同14.7%減）、営業利益は、113百万円（同21.5%減）となりました。

#### ⑥ 食品その他事業

有機農産物、肥料、リンカー、BSE検査キット、イタリア食材、化成品は、共に若干増加しております。また、一部の輸入販売においては円高の影響もあり増益となりました。

この結果、売上高は、5,440百万円（同0.9%増）、営業利益は、225百万円（同19.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、60,230百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,340百万円の減少しました。

① 資産の部

流動資産は、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品などが増加しましたが、現金及び預金、繰延税金資産が減少したことにより、前連結会計年度末と比べ541百万円減少し、18,581百万円となりました。

固定資産は、東京都足立区の土地を売却したことにより、有形固定資産が2,247百万円減少しましたが、無形固定資産が29百万円、投資その他の資産が430百万円増加しました。これにより、前連結会計年度末と比べて1,787百万円減少し、41,617百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、未払法人税等が増加しましたが、短期借入金、従業員預り金、設備関係支払手形などが減少したことにより、前連結会計年度末と比べ2,313百万円減少し、19,045百万円となりました。

固定負債は、社債、長期借入金、長期未払金などが減少したことにより、前連結会計年度末と比べ2,004百万円減少し、20,757百万円となりました。

③ 純資産の部

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金、繰延ヘッジ損益、少数株主持分が増加しましたが、土地再評価差額金が減少しました。これにより、前連結会計年度末と比べ1,978百万円増加し、20,428百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、本日(平成25年2月6日)公表いたしました「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,173	3,847
受取手形及び売掛金	8,175	8,201
商品及び製品	4,361	4,525
仕掛品	997	577
原材料及び貯蔵品	317	680
未収還付法人税等	3	1
未収消費税等	67	43
繰延税金資産	708	301
その他	365	451
貸倒引当金	△46	△48
流動資産合計	19,123	18,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,424	7,179
機械装置及び運搬具（純額）	704	608
土地	24,847	22,738
建設仮勘定	6,136	6,247
リース資産（純額）	147	203
その他（純額）	116	151
有形固定資産合計	39,377	37,129
無形固定資産		
リース資産	67	51
その他	101	146
無形固定資産合計	168	198
投資その他の資産		
投資有価証券	3,209	3,633
長期貸付金	273	245
繰延税金資産	20	12
破産更生債権等	1,414	1,522
その他	479	455
投資損失引当金	△39	△53
貸倒引当金	△1,498	△1,526
投資その他の資産合計	3,858	4,289
固定資産合計	43,405	41,617
繰延資産	42	31
資産合計	62,571	60,230

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,713	7,667
短期借入金	10,243	8,389
1年内償還予定の社債	485	410
リース債務	69	83
未払法人税等	195	717
未払消費税等	72	78
繰延税金負債	—	43
賞与引当金	401	207
役員賞与引当金	64	31
その他	2,112	1,416
流動負債合計	21,359	19,045
固定負債		
社債	1,460	1,255
長期借入金	10,793	9,103
リース債務	155	185
退職給付引当金	1,725	1,660
役員退職慰労引当金	403	419
長期未払金	2,161	2,029
再評価に係る繰延税金負債	4,773	4,665
繰延税金負債	914	953
資産除去債務	5	5
その他	370	479
固定負債合計	22,762	20,757
負債合計	44,121	39,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,153	1,153
利益剰余金	5,434	7,360
自己株式	△225	△225
株主資本合計	9,862	11,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△100	55
繰延ヘッジ損益	3	54
土地再評価差額金	8,348	8,148
為替換算調整勘定	△75	△76
その他の包括利益累計額合計	8,175	8,182
少数株主持分	412	457
純資産合計	18,450	20,428
負債純資産合計	62,571	60,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	29,941	28,463
売上原価	22,623	21,193
売上総利益	7,317	7,269
販売費及び一般管理費	5,410	5,765
営業利益	1,907	1,503
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	45	40
持分法による投資利益	232	274
その他	32	42
営業外収益合計	316	361
営業外費用		
支払利息	439	380
手形売却損	25	25
為替差損	27	25
開業費償却	34	—
その他	72	95
営業外費用合計	599	526
経常利益	1,623	1,338
特別利益		
固定資産売却益	—	1,714
投資有価証券売却益	0	0
工場誘致奨励金	—	65
特別利益合計	0	1,779
特別損失		
固定資産除却損	2	19
固定資産売却損	—	59
投資有価証券売却損	0	1
投資損失引当金繰入額	11	13
役員退職慰労金	9	—
災害による損失	34	20
その他	4	0
特別損失合計	62	113
税金等調整前四半期純利益	1,561	3,004
法人税、住民税及び事業税	218	822
法人税等調整額	△212	336
法人税等合計	6	1,158
少数株主損益調整前四半期純利益	1,555	1,846
少数株主利益	27	35
四半期純利益	1,527	1,810



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,555	1,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	144
繰延ヘッジ損益	△74	65
土地再評価差額金	681	—
為替換算調整勘定	△24	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	45	11
その他の包括利益合計	468	220
四半期包括利益	2,023	2,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,014	2,016
少数株主に係る四半期包括利益	8	50

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。